

# 薬剤師過剰時代を乗り切る薬局



## 「株式会社ハートフェルト」って、どんな会社？

熊本県熊本市に本社を置く（株）ハートフェルトは同県に保険薬局を8店舗展開。「実務、教育、研究」を3本柱に、全社員が常に問題意識を持ち患者中心の医療に取り組んでいる。

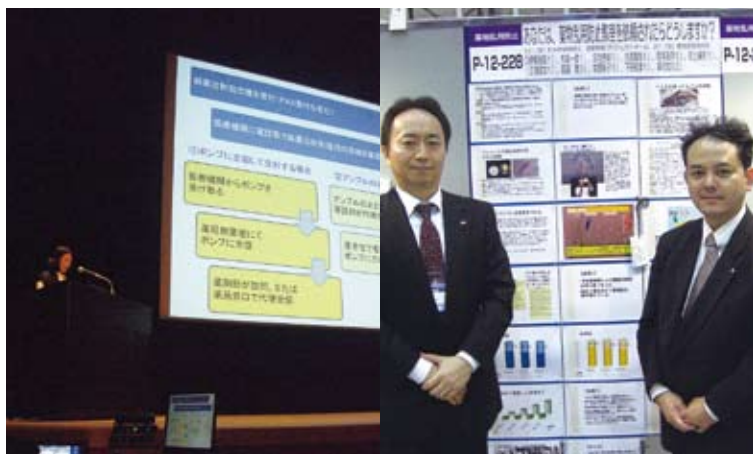
実務では在宅医療、生薬調剤、注射剤の無菌調製、長期実務実習受け入れなど幅広い分野に対応し、次世代の保険薬局の姿をリードしている。教育では薬剤師過剰時代へ対応し、様々な診療科を経験させることで薬剤師個々のスキルアップを積極的に支援。社内研修の他、社外の新人研修、管理者研修、薬剤師会の研修なども積極的に行っている。

研究では日本薬剤師会学術大会、九州山口薬学大会、日本緩和医療薬学会年会などで毎年発表を行い、様々な認定薬剤師を目指す環境が整っている。薬剤師だけでなく事務員も毎年発表を行っているのも特徴だ。

規制緩和による薬学部新設ラッシュで、近い将来薬剤師過剰時代を迎えると予想されている。薬剤師免許があれば就職できるという既存の概念は崩れようとしており、一部の調剤チエーン大手では「薬剤師免許は当たり前で、研修認定薬剤師（※1）などの資格が最低基準となる」との見方を示している。

個々の能力を高めるには設備やバックアップ体制が必要だが、それを満たす薬局は少ないのが現状だ。これからの就職戦線では今までと違った視点で薬局を選ぶようになり、各社生き残りを掛けて設備投資や経営改革を迫られそうだ。そんな中、早くから独自の薬局経営を行い薬学6年制教育に対応し、薬剤師個々のスキルアップに重点を置いた薬局づくりを進めてきた株式会社ハートフェルトを取材した。

（※1）研修認定薬剤師（財）日本薬剤師研修センターが一定期間内に学会や研修会などで所定単位を取得した薬剤師を認定する制度。



第4回日本緩和医療薬学会年会 第42回日本薬剤師会学術大会

## 店舗展開の経緯

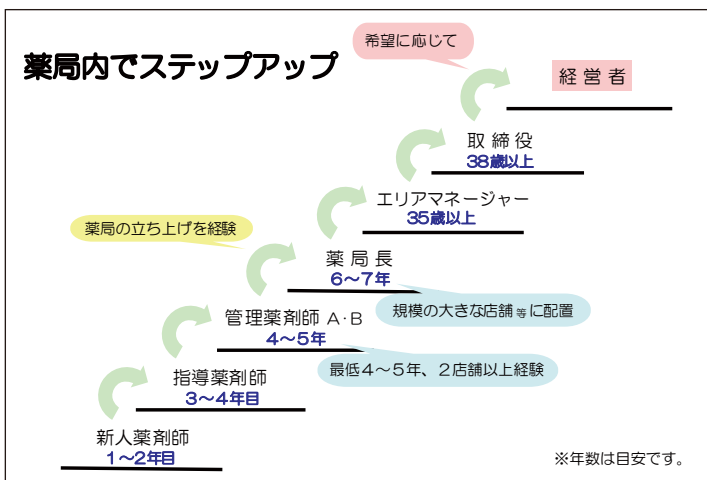
店舗展開の経緯について、(株)ハートフェルト代表取締役の稲葉一郎氏(薬剤師)に話を聞いた。「平成7年に保険薬局を開局して今年で17年目ですが、当初は薬剤師1人の小さな薬局で、今ほど店舗展開するとは思っていませんでした。1人で管理できる店舗展開の限界は近距離の2〜3店舗で、それ以上展開するには組織化が必要になり、株式会社を設立しました。さらに会社の方向性を示すには、(会社の)理念が重要で、それを継続的に経営に反映させるには幹部会が重要になります。」

平成14年に3年後に大型薬局、普通薬局、姉妹薬局を各3店舗、6年後に各5店舗経営するという目標を立てました。そのためには向上心のある薬剤師が定着する仕組みが必要と考えて、自分の立場、将来が見えるように新人薬剤師、指導薬剤師、管理薬剤師、薬局長、エリアマネージャー



いなば いちろう  
**稲葉 一郎氏**  
 Heartfelt 福岡大学薬学部卒業

大学卒業後、イーザイ(株)にMRとして入社。その後、泗水中央薬局を熊本県に開局し、現在8店舗展開。役職は(社)熊本県薬剤師会常務理事、一般社団法人日本緩和医療薬学会理事、くまもと藤井もとゆき後援会会長など。



というステップアップの目標も設定しました。現時点で目標の8割は達成できたと思います。店舗展開していくには本格的に始める年齢にもよりますが、私は30代で始めることができたので運よく軌道に乗せることができました」とし、店舗展開には何が必要かを冷静に分析し、薬剤師が定着することが重要という考えだ。

## 積極的な在宅参加

在宅医療における薬剤師の役割について、薬局セントラルファーマシー長嶺の管理薬剤師、天方奉子氏に話を聞いた。



あまがた ともこ  
**天方 奉子氏**  
 Heartfelt 長崎大学薬学部卒業

「在宅業務を始めたころは、患者さんや病院スタッフに全く認知されていませんでした。薬剤師は見える仕事ばかりでなく、医師から患者さんの相談を受けることもあり、(患者さんに)見えないところで在宅(医療)に参加することもあります。今では年間30〜40人の在宅緩和ケアに取り組んでいます。無菌調製では医療用麻薬を扱うことが多いのですが、点数の付かない作業も多くあります。」

在宅に行くことで、薬局の投薬カウンターでは気付かなかったことに気付き、考えさせられることがあります。例えば疼痛時に飲む薬が数種類あり、誰がどういう基準で判断し選択しているのか、という疑問が生じ、服薬の状況そのものが把握できない現実があります。最近は見

護師との信頼関係ができ、情報共有しながらチーム医療を行っているので、様々な問題に対処できるようになりました。ケアマネージャーからの認知症患者さんに対する依頼も多くなり、老々介護や一人暮らしの患者さんではヘルパーや家族などの訪問状況も考慮しています。介入した結果、アドヒアランスが改善されたことによりHbA1cが改善し糖尿病薬が減量になることもあり、在宅での薬剤師の必要性を感じています」とし、在宅医療はハードルが高いが、これからの薬剤師の役割として重要な業務だという。

## 管理薬剤師の視点

「単に業務をこなすだけでなく、人を育てることを意識しています。ある程度薬局のビジョンを示し、個々に目標を設定し1〜2年で達成できるようにしています。職員が多いので伝達ノートなどを活用し、ビジョンの周知や情報共有をスムーズに行うよう努めています。」

業務についてですが、当薬局の投薬カウンターは待合室から見えにくい個室のような設計で、患者さんのプライバシーがしっかり守られています。(患者さんは)何でも話したいという日ばかりではないので、雰囲気を感じとってニーズに合った服薬指導を心掛けるようにと指導しています。

患者さんや病院スタッフ、ケアマネージャー



## 投薬カウンター

との連携がうまくいった症例を体験すると、各々が薬剤師としてやりがいを感じていると思えます。

全ては患者のために創意

工夫し、患者や社外の医療スタッフに認めてもらうことが職員のやりがいにつながっているという。

## 生薬調剤の基本

生薬調剤について、漢方専任薬剤師の山下嘉昭氏に話を聞いた。



よしてる 山下 嘉昭氏  
やました 第一薬科大学卒業  
Heartfelt

「当薬局では漢方外来の煎じ薬処方を受けています。一般に薬局薬剤師はエキス製剤は知っていますが、煎じ薬は知らない方が多いのではないのでしょうか。西洋薬は基本的にひとつの症状に対してひとつの薬で治すという考え方ですが、生薬は多彩な薬効を持つので、患者さんによって組み合わせが異なり、病気ではなく病人を治す医療です。」

医師が望聞問切(※2)などで診断し、処方箋を発行します。生薬調剤では分量と、症状に合った内容であるかをチェックし、患者さんの病態を想像しながら調剤をします。服薬指導で注意することは、処方内容によって煎じ方が変わることがあるので、(煎じ薬の)調製法・服用法・保管をしっかりと説明することです。(煎じ薬の)調製法は薬剤師が判断して指導するので、責任を感じます。症状がよくなったら服用を止めることもありますが、続けて飲む必要があるのは西洋薬と同様です。生薬の服薬指導はトラブルが少なく、患者さんから質問を受けることが多いですね。

毎月1回生薬の勉強会を社内の薬剤師を対象に開催しています。また今年の9月には阿蘇で若手医師向けのセミナーに講師として参加させていただき、生薬の基原(基原植物・薬用部位)、日中の生薬の相違、良否の鑑別法などについて講義しました。

生薬と西洋薬は対抗するのではなく、お互いに補完し合って初めて質の高い医療を提供することができるかと確信した。

(※2) 望聞問切 望診、問診、切診の四診のことで、東洋医学の基本。

## 妥協のない長期実務実習

「薬学6年制教育を見据え、長期実務実習に対応した薬局が必要になると感じ、平成18年に無菌調製を行える安全キャビネットを導入した薬局セントラルファーマシー長嶺を作りました。学校薬剤師活動でも指導薬剤師に同行するだけでなく、実際に講師として薬学生本人が生徒の前に立って発表し、教えることの難しさも経験させています。」



## 長期実務実習

薬学4年制(教育)のときは実習期間は約1か月でしたが、今は薬局実習11週プラス病院実習11週と、長期間なので、様々な診療科を経験させるなど工夫して、幅広い視野を持てるようにしています(前出、稲葉氏)。

実務実習が長期化されたことで薬学生を受け入れる側の責任が重くなったのが現状だ。実務実習モデル・コアカリキュラムは定められてい

るが、その基準に準拠することに満足せず、より中身のある実習にこだわるどころに薬剤師教育への意識の高さがうかがえる。

## 薬剤師の変革期

「6年制薬剤師は保険薬局も病院も経験するのでうらやましく思います。一部の国立大学ではポリクリ(※3)に参加し、私立大学ではフィジカルアセスメントを実施しています。それだけ経験してきた薬学生が、現場にきて失望しないよう常に刺激がある職場でありたいと考えています。現在の薬剤師は(6年制薬剤師に)負けないと思わないといけません。6年制薬剤師が毎年卒業するようになれば、大きな変革期を迎えると思います。薬剤師が過剰になると二極化が進み、問題意識のある人とならないに分かれるでしょう。今後は学会発表をしたり、認定薬剤師などのより専門的な資格が必要になります」(前出、稲葉氏)。

薬学6年制教育になり新人薬剤師の質が担保されたわけではないが、薬業界全体の底上げは期待されている。現在の薬剤師も傍観せず、この変革期に取り残されないよう今以上の努力が求められるだろう。

(※3)ポリクリ(Polikri) 医学部高学年における臨床実習で、約1年かけて各診療科を1〜2週単位で回る。

## 生き残りを掛けて

「2025年に人口の3分の1が高齢者という超高齢社会を迎え、高齢者介護のニーズが高まっていくと予想されます。当社は来年から介護付有料老人ホームを運営する予定で、熊本県では保険薬局が運営するのは初めてです。様々

な業種が参入していますが、医療関係者が運営することでよりきめ細かいサービスが提供できると確信しています。当社は以前より在宅業務に力を入れていたので、入所者へのケアは万全です。家族が入りたいと思うような施設を作ろうと考えています」(前出、稲葉氏)とし、各社が生き残りを掛けて模索する中、薬業界の新しいビジネスモデルが誕生しようとしている。



平成24年春開業予定の「つどいの杜」

## 薬局薬剤師を目指す薬学生へ

「現在保険薬局は約55000件あります

### 第72回九州山口薬学大会



が、1つの薬局が何か不祥事を起こしてしまうと全ての薬局が同様に見られるので、まずは倫理観を持つて取り組んでほしい。人の話をよく聞き、常に謙虚に振り返ることが重要で、自分が完成していると思わず常に向上心を持つことが必要です。

新しいことに飛び込む勇氣も重要で、継続して

いけばやがて本物になります。10年後に薬剤師過剰時代を迎えても、実力を付けていれば大丈夫でしょう」(前出、稲葉氏)。

これからの薬局経営は時代を読む力と強い意思が必要だ。全社員が与えられた環境でベストを尽くし、一歩ずつ前進する本社には今後も注目だ。



開局年月	平成18年4月
薬剤師数	常勤5名 非常勤2名
主な応需医療機関	日本赤十字社 熊本健康管理センター、 熊本赤十字病院
処方箋枚数	1,350枚/月
備蓄品目数	1,500品目 (平成23年11月現在)

薬局セントラルファーマシー長嶺



## 薬局見学受け付けています

株式会社 ハートフェルト  
〒861-8039 熊本市長嶺南 2-8-83  
セントラルファーマシー長嶺 3F  
人事担当者: 天方  
TEL: 096-381-0820 FAX: 096-381-0860  
<http://heartfelt-web.com>